



魅力ある大人との出会いを通して

校長 山崎 誠



いつも松江東高校 EAST NEWS をご覧いただきありがとうございます。また、日頃より松江東高校の教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度校長として赴任しました山崎誠と申します。本校は2度目、今回は教頭として勤務しました。2021(令和3)年度入学者選抜、いわゆる高校入試から松江市内普通科3校の通学区を撤廃することが、2019(平成31)年3月の「県立高校魅力化ビジョン」(島根県教育委員会)で示された頃でした。

1982年(昭和58)年4月に開校した本校は、今年度開校40周年を迎えます。開校以来不変の教育方針である「高い知性と、すぐれた人格を備え、心身ともに健全で、人間性豊かな人材の育成をめざす」ことの具現化に、「師弟同行」をモットーとして取り組んできました。通学区撤廃に伴い、松江市内普通科3校が、等質等量でなく、それぞれが特色を打ち出して、それを具体化、明確化することが命題とされました。そこで、育てたい生徒像を次のように決めました。

○自分らしいライフデザインの実現を目指す生徒

○持続可能な社会を創造する「地域共創人」

「地域共創人」とは、地域貢献意欲が高い生徒のことです。「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(文部科学省指定事業)」に応募した時に打ち出したフレーズです。

隠岐の海士町は、「ないものはない」がキャッチフレーズになっていますが、松江は「たいがいのものがある」中核都市です。限りある資源をいかに有効活用し地域活性化、持続可能な社会へとつなげていくか、そこに視点をおきました。そのために大切な力が、学力はもちろん、人間力、社会力です。特に、様々な人と協働する力だと思っています。

子どもの成長にとって、どんな大人と出会うのか、その中の誰を理想として、あるいは模範として背中を追いかけていくかはとても大事なことです。それは誰と協働していくか、誰を巻き込んでいくかにもつながります。松江東高校でも、「生徒の人生のロールモデルとして魅力ある大人との出会いの創出」を、「東高生が身につける力」を育てる学びの一つとして位置づけています。

「子どもを親以外の誰に任せるか」を決めることは、親にとっての大きな仕事の一つです。習い事の先生や少年野球等のスポーツ団のコーチなどとの出会いは、その一つと思います。学校の担任や部活動の顧問などを親が決めることができませんが、どの高校や大学等に行くかを学校と協力・連携して助言したりすることはあると思います。進路決定は子どもが主体的に行うべきものですが、一緒に考え助言することは保護者の重大な責務と思っています。学校としても、魅力ある大人と出会いを創出し、地域の方々と一緒に地域の今と将来を考える機会をつくることは、同じく大事な意味を持っていると考えています。

人は、自分の存在や成長、行いが誰かの喜びとなり、誰かを支えることに結びついたとき幸せを感じることができます。生きがいを手にすることができます。その誰かが、親や身近な人だけでなく、地域の人などであればなおさらです。地域の人に認められれば自己有用感がより高まります。自分の未来に向かってはばたく力になります。それが「地域共創人」に込めた思いです。

令和5年度学校で大事にしたい言葉として、松江東高校のグランドデザインにも示されている「自立への道程」に、「小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志」という言葉を添えました。18歳の自立した大人として成長していく過程の中でどういう姿勢や心構えで高校生活を送って欲しいかを示しました。その思いの詳細は、不定期に発行している「校長室だより 絆」でも触れています。松江東高校ホームページにも掲載していますので、ぜひご一読いただければ幸いです。

1年生

4月には「新入生オリエンテーション」として、まず図書館利用の説明会を行いました。次に、この1年のテーマが「地域に関心を持つ。地域の価値を知る。」であること、このプログラムを通じて東高生につけてほしい力を確認しました。続いて「チーム活動のための準備」として、演劇型議論ゲームを用いて、他者と対話したり、協力し合って一つのことに取り組む心構えを醸成しました。

そして5月以降、探究の流れに慣れるために「東高の魅力探究」を行っています。その成果の一部は、9月の東雲祭でポスターにて展示します。



2年生

今年は、生徒それぞれの興味・関心や課題意識に基づいて、グループづくりを行い学年全体で49グループができました。その上で、グループごとに探究テーマの仮決定を行いました。次に、テーマに沿った知見を得るために、松江市や島根県が主催する出前講座を19講座開催し、各グループにつき1講座を受講しました。それを受けて、どのような調査をするのか計画を立て、現在、文献や統計、ネット等での調査を行っています。

7月25日(火)には地域の方々をお呼びして中間報告会を行い、そこでいただいたアドバイスを後半の調査に活かしていきます。



今年度の3年生「EAST地域探究」

3年生

3年生は「EAST地域探究」を選択した10名の探究活動になります。今年は、より多くの学生さんや地域の方々に関わってもらっています。具体的な関わり方は、「キックオフミーティング」におけるテーマ発表に対する助言。その後の探究活動における伴走。「中間報告会」における助言などです。



そうすることにより、地域の持続的な発展に貢献しようという姿勢が、地域全体に広がっていくとよいと考えています。10名の探究活動の多くは、夏休み中に川津公民館で実践させていただくことになっています。



東高アラカルト

～令和5年度 高校総体
完全燃焼！～

Aグループ:5位

男子総合 8位(敢闘賞) 女子総合 4位

優勝

- ・男子バスケットボール部
- ・アーチェリー部:女子団体、女子個人(神野)
- ・ボート部:男子舵付きクォドルプル(松尾、梶野、松田、重谷、大西)、女子シングルスカル(野村)、女子ダブルスカル(熊谷、西村)
- (・水泳:バタフライ100m(小野)・体操:個人総合、ゆか(山本))



準優勝

- ・アーチェリー部 男子団体、女子個人(鹿島)
- ・剣道部 男子団体、女子バドミントン部 団体
- (・体操 跳馬、段違い平行棒、平均台(山本)、ゆか(石倉))



3位

- ・男子ハンドボール部、
- ・女子硬式テニス部 団体
- ・剣道部:男子個人(安部)
- ・アーチェリー部:女子個人(曾田)
- (・体操 個人総合、跳馬、段違い平行棒、(石倉))



4位

- ・陸上競技部 4位
- 女子三段跳(松本)
- (・水泳 4位 男子自由形 50m(小野)、女子自由形 50m、100m(永原))

ベスト8(5～8位)

- ・陸上競技部:6位 女子4×100mR (松本、平野、渋谷、小畑)
- ・女子バスケットボール部
- ・剣道部:女子団体、女子個人(青戸、松尾)
- ・女子バドミントン部:ダブルス(小笹、細田)、シングルス(小笹)
- (・水泳 6位 男子平泳ぎ100m(三浦)、7位 男子平泳ぎ200m(中井)、8位 男子平泳ぎ200m(三浦))



【行事予定 2023年】

★このほかにも多くの生徒が活躍しました！

【8月】

- 1日 3年夏期特別講座 (~4日)
- 14日 閉庁日
- 15日 閉庁日
- 17日 3年全統W模試 (~18日)
- 22日 始業式
- 26日 1,2年希望者模試 (全統)
- 31日 東雲祭 (~9/2)

【9月】

- 4日 週休日振替 (9/2)
- 5日 3年中期講座(~12/15)
- 9日 土曜講座② (1年生スタサポ)
- 12日 ETC④
- 15日 3年進研M模試 (~16日)
- 21日 試験発表
- 28日 中間試験 ~10/3)

【10月】

- 4日 生徒会長選挙公示
- 6日 3年進研W模試 (~7日)
- 7日 1, 2年希望者模試 (駿台)
- 11日 1,3年生遠足 2年生東京研修(~13日)
- 13日 3年全統W模試(~14日)
- 16日 立会演説会・生徒会長選挙
- 17日 ETC⑤
- 21日 創立40周年記念式典、出校日
- 23日 週休日振替 (10/21)
- 27日 3年全統M模試 (~28日) 土曜講座③
- 30日 生徒総会

島根県立松江東高等学校

〒690-0823 島根県松江市西川津町510番地
TEL: 0852-27-3700(代表) FAX: 0852-27-3703
HPアドレス <https://www.matsuehigashi.ed.jp/>

学校だより「EAST NEWS」(カラー版)はホームページにも掲載しています。バックナンバーもありますので、ぜひご覧ください!!

編集・発行 松江東高校 総務部